

わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2018.12
No.341

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人 (内12人が子ども)
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000万人が
飢えのために生命を失っています

contents

2018クリスマス募金

世界食料デー報告

第1回大会に取り組んで
～札幌大会・横浜大会～

2018ウガンダサマーキャンプ 参加者体験記

写真:ウガンダサマーキャンプ (P.6-7に記事)



希望
MARIA

札幌 北海道ならではのアイデアで

●札幌大会実行委員会事務局次長
木村七郎（ハンガーゼロ・アンバサダー）

2018年4月25日に発起人会（役員会）が、そして6月11日に実行委員会が発足しました。「欠けだらけだったけど、楽しかった。来年はもっとこうしたいね、ああしたいね。最後までそんな会話ができるチーム作りと取り組みにしよう!」を合言葉に会議を進めていきました。

何しろゼロからの出発ですから、ハンガーゼロの講演と現地報告はすぐに決まったものの、会場や内容・規模についてはかなりの議論を重ねました。その結果、北星学園の全面的な協力を得て会場が北星学園女子中学高等学校と決まりました。それからは、ハンガーゼロパネル展、フェアトレード商品販売、北海道ゆかりの音楽家による音楽の集い、北海道ならではの農産物・水産加工品の販売などが次々とプラン化していきました。

終了後、募金袋に「世界の飢餓の状況をより深く知ることができ、同時に自分も動き出そうという意識が芽生えました」と書かれてあり、『わたしから始める、世界が変わる』が札幌にも根付き始めたことを喜び合いました。



小西スタッフ(左)のポリビア現地報告



地元の農産物の即売コーナー

長年の念願だった札幌大会開催の第一歩を踏み出せたことを心から感謝しています。

終了後の役員会・実行委員会では、すでに来年に向けた話し合いが進んでいます。

HungerZero 第1回 世界食料デー大会に取り組んで

横浜 これからも続けてとの声も

●横浜大会実行委員
池田恵賜（本郷台キリスト教会主任牧師／
ハンガーゼロ理事）

今回ハンガーゼロ事務局よりチャレンジをいただき10月16日(土)に世界食料デー第1回横浜大会を開催する運びとなりました。昨年まで行なわれていた湘南大会が第20回で幕を閉じたこと、昨年からは私がハンガーゼロの理事を務めさせていただいていることから横浜大会の開催を決定し、各方面からの協力を得るために、教会の関連団体の一般財団法人オアシス主催にいたしました。

開催を決めたのが今年の7月中旬という直前の時期であったこともあり、十分な準備はできませんでしたが、ゴスペルコンサートとハンガーゼロスタッフの現地報告を組み合わせたプログラムとし、当日は94名の来場者がありました。世界の食料事情やVOC (Vision of Community) の現状・可能性など、映像も交えながら知ることができ、素晴らしい時となりました。来場者から、これからも続けてほしいとの声もいただきました。

飢餓や食料問題は、教会という枠組みを超えて多くの方



ゴスペルコンサート



鶴若スタッフが飢餓の現状を報告

の関心を集めることができます。来年に向けて、さらに広く企業や学校関係者、行政とも協力しながら、教会主導でこの問題に取り組んでいきたいと願っています。

クリスマスに愛の贈りものを

緊急食料支援と 平和構築のために

クリスマス募金

目標600万円

募金方法

郵便振替 00170-9-68590
(一財) 日本国際飢餓対策機構
「クリスマス指定」と必ず明記
※ウェブからクレジットカードを
利用することもできます。



プウェトで実現したよう

タンガニーカ州の州都カレミは、タンガニーカ湖西岸に位置する港町で、HOLC (ハンズ・オブ・ラブ・コンゴ) の活動地であるプウェトとは陸路で繋がっています。実際に、昨年(2017年)の夏にはタンガニーカ州で起きた部族紛争による戦闘が、プウェトからわずか30kmのところまで迫り、共同農園事業が軌道に乗りかけていた1つの村に大きな影響を与えました。

この時、カレミには近隣の村から多くの国内避難民が逃れてきて、政府が用意した国内避難民用キャンプや知り合いの家、学校や教会に身を寄せました。その人たちのほとんどは、いまだに故郷の村に帰ることができず、もう1年以上もそんな暮らしをしています。今も新たな国内避難民が到着しており、食料ならびに生活必需品が大変不足しているだけでなく、衛生状態が悪化しています。

長年にわたるカレミの部族対立は、いま何らかの手を打たないと5年以内に大規模な殺りくが起る可能性を否定でき



クリスマス募金にご協力をお願いします



プウェトにおける農業プロジェクト

コンゴ民主共和国駐在員 ジェローム・カセバに HOLCの取り組みを聞く



コンゴ民主共和国
ジェローム駐在員

カレミ

な地域開発をカレミでも

ないと言われています。部族紛争に端を発する大規模な殺りくが起きてからでは、その損失は計り知れません。人々は深く傷つき、何年にもわたってその影響が残ります。

国内避難民300世帯に食料支援とトレーニング

HOLCは、そうした状況にある国内避難民の方々300世帯を対象に緊急食料援助ならびに保健衛生や農業などのトレーニングを行うと共に、今後最悪の事態を避けるための和解のセミナーを実施し、プウェトで行われているような国内避難民と地域住民による地域開発が、カレミでも始まるように、そして、部族間に平和的な関係が構築されるためにサポートを計画しています。

今年のクリスマス募金は、カレミの緊急食料支援、その後の和解のセミナー、ならびにプウェトで行われている元国内避難民と地域住民による地域開発などHOLCの活動全般のために使われます。応援をよろしくお願いいたします。

お願いいたします



今年の食料デー大会 (tokyoWFD+G) で現地報告するジェローム駐在員

Q コンゴでいま直面している問題は

一番の問題はコンゴ全土の安全性の低さです。特に東側のカレミ、モバ、プウェトなどでは部族間の紛争がいつ起こってもおかしくないですし、実際に起きています。年末の大統領選挙も治安の悪化を招くのではないかと心配されています。

Q プウェトの農業プロジェクトでの成果は

今はピーナッツとトウモロコシ、そして赤豆を作っています。ピーナッツは市場で良い値段で売れます。トウモロコシと赤豆はコミュニティで消費しています。

Q 教育プロジェクトの現況は

3つのコミュニティから約50人の児童が学校に通っています。学費、制服代、文房具などに1カ月10ドルほどかかりますが、HOLCは2019年の7月までその費用をサポートします。その間コミュニティの両親たちに収入向上に努め、貯金する習慣をつけるように促しています。その後サポートは終了します。コンゴの経済力が弱いので給食はありません。



Q HOLCのこれからの計画は

カレミを中心に「平和と和解」というプロジェクトを始めようとしています。国内避難民キャンプへの食料配布から始め、教会を仲介者として対立している部族のチーフの和解を助けたいと思っています。教会の牧師はたいいてい現地の人と友好関係をもっているからです。和解の先には発展があると思っています。200以上あるコンゴの部族対立は元をたどれば小さな誤解に端を発しているケース少なくありません。プロジェクトを通じて、和解の糸口を見つけ、無益な暴力に終止符を打つ手助けがしたいです。

宝探しの旅へようこそ!

ウガンダサマーキャンプ



2018年8月17日~27日 参加者体験記

学生の私にも出来る事はあるんだ

杉内めぐみさん (チャイルドサポーター)

今回、ウガンダサマーキャンプに参加させていただいて、学んだ事、気がつけた事は沢山あります。特に印象深いのは、「隣人を愛する」とは時間をかけること、と教えられた事です。私たちは、困っている誰かに、目先の欲しい物を与える方が、それを手に入れる手段を一から教えるよりも、ずっと簡単で早いことを知っています。でも、それは、与える側の自己満足と、貰った側には一瞬の喜びと依存の元になってしまうと感じました。

私は学生という身分ですので、貧困の中にいる人のために出来る事は少ないですが、私にも出来る事があると気づかされました。それは今の生活に感謝する事、満足する事です。水洗トイレ、シャワー、勉強が出来る事、服に穴が開いていないなど、今日この豊かな日本で生かされている一日をどのように過ごすか、神様と向き合いながら考えたいです。

チャイルドのサンドラとの出会い

御所豊穂さん (チャイルドサポーター)

一番、嬉しかったことは、なんといっても、サポートさせていただいているサンドラちゃんのお宅を訪問ができ、サンドラちゃんのご家族(たくさんの兄弟姉妹)と会えたこと!いつか里子に会えたら…と、数年前から買ってあったプレゼントを渡し、さて何を話したかったか、頭が真白。彼女のほうが、ハグしたい!と言ってきて、なんどもハグをしました。とても心が熱くなりました。次の日の小学校での交流イベントで、サンドラちゃんは私のところに来て「進学できたことを見てほしかったの」と、言ってくれました。過去のレポートによると彼女は病気で休学したため進級できなかった年もありました。それを思い出し、今後もサンドラちゃんが元気に進級し、人生の目的に歩めるようにサポートを続けようと再決心しました。私の所属するコイノニア福音教会がサポートしている里子の5人のうち、2人がこの地域の子でした。この2人にも会うことができ、教会のみんなの写真を見てもらい、「このメンバーであなたをサポートしているよ」と激励することができました。



杉内さん



御所さん



FH ウガンダの活動は 1988年に始まり、現在は国内 11 の地域で活動が行われています。健康・栄養改善、子ども・マタニティー支援、教育現場の充実、農業指導など、各地域の必要に応えたプログラムが進められています。

今回は FH ウガンダが支援している小学校も訪問し、書道や折り紙などの日本文化体験や、寄贈したサッカーボールでの試合など心結ばれる交流の時になりました。学校敷地の4ヘクタールの畑に、給食の食材となるトウモロコシや野菜などの種を生徒たちの手で蒔き、収穫するという農業と勉学をセットにした取り組みも印象的です。

ウガンダにおける近年の変化をいくつか挙げると、一つは小学校の卒業率が5%から20%へと伸びたこと、また高校への進学率が約半数に伸びたこと。先進国と比べると驚くような低い数字ですが、現地では大きな成果とのこと。子どもたちは目を輝かせて将来の夢を語り、学校で学べることの感謝と誇りが表れていました。

もう一つは女性の立場が男性と同等になっ



最上さん



てきたこと。発言権や所有権など女性の権利が認められるようになりました。地道に続けられてきた支援により意識改革もたらされ、生活は改善され、状況は確実に向上しています。

謙遜に人々の価値観を学ぶことから

私たちは衣食住ともに利便性の高い商品に囲まれて暮らしています。しかし現地の人たちは自然そのものを活用する生活で、水道もガスも通っていない家庭がほとんどです。井戸までは数百メートル。小さな子どもが重い水のタンクを背負っています。先進国の快適さを知っている者にとっては、今更そのような暮らしには戻れないというのが本音かも知れません。満足の概念そのものが異なります。

支援をする側として、まず私たちが謙遜を学び、人々の価値観を理解することから始まると教えられました。全ての人に公平に命が与えられ、今日も生かされている、そして生きるためには必ずパートナー（助け手）が必要となってくる、住む場所が離れていても命の絆で結ばれていることを忘れないこと、そこに支援の根本的意味があるのではないかと、ウガンダで過ごした日々を振り返りながら考える毎日です。



「1人が1人を」に別の意味があった

最上裕恵さん（チャイルドサポーター）

「恥ずかしがり屋さんなんだ」その子は、里子のデオ君。誕生日だと気づき心に残るプレゼントをと、絵本の読み聞かせをした。読んで子どもたちが集まってきて、デオ君もやっと嬉しそうな顔を見せた。でも、話しかけてこない。「良かったら、歌を歌って」とつい言ってしまった。小さいけど、とてもきれいな歌声。デオ君の最高のお返しを受け取った。

「1人が1人を助ければ、世界は変わる」と大学時代、世界の飢餓について聞いた。当時「1分間に17人も飢餓で死ぬのに自分1人が1人を助けよう」と反発。でも数年後「1人が1人を」の別の意味に気づかされ、私は里親になった。里子が親になったとき自分が教育を受けていたら我が子を学校に行かせる。未来という縦の時間軸で「1人が1人を」をみるなら素晴らしい働きになる。なぜなら、デオ君が宝物は「教育」と答えていたから。

ハンガーゼロウェブサイトにも全参加者の体験記を掲載中。ぜひご覧ください。

ハンガーゼロ(日本国際飢餓対策機構)は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体(NGO)です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18か国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころからだの飢餓」に応える活動をしています。

この1年の応援を感謝いたします

飢餓・貧困と災害に苦しむ人々や子どもたちのためにこの1年も温かい応援を賜り、心から感謝を申し上げます。新しい年もハンガーゼロ実現のために共に力を合わせてまいりましょう。皆様の上に豊かな祝福がありますように。メリークリスマス!

心あたたまるセット フェアトレードココア&チョコ



ココア1袋 780円、チョコレート2枚(種類はおまかせ) 760円

上記のセットを税込 2,050円でお届けします。(送料510円含む) チャイルドサポーターは2,000円でお届け。(支援者番号をお知らせください)

なお歳末の為、到着日の指定はご容赦ください。お届けは日本国内に限ります。

◎お支払い:後払い
郵便局払込で株式会社キングダムビジネス口座へ。

好評 ハンガーゼロカレンダー
「地球家族」2019年版
お申し込み受付中。1部1,080円

【お申し込み先】
株式会社キングダムビジネス
電話 06(6755)4877 やウェブサイトからも注文ができます。
本年もご愛顧頂き有難うございました。よい年末年始を。



ワンフェスforユース

高校生のための

国際交流・国際協力 EXPO 2018

12月24日(月・休)10時から16時
高校生が国際課題の理解を深め、国際協力を身近に感じる場で。楽しい体験型プログラムも有。
ハンガーゼロもブース出展します。会場でお会いしましょう!

会場:大阪 YMCA
大阪市西区土佐堀 1-5-6
連絡先:大阪市北区茶屋町2-30
4階(関西 NGO 協議会)
TEL:06-6377-5144

●年末年始は書き損じ「年賀はがき」で国際協力を!!

郵便局などで発売中の「年賀状」で書き損じたものやポストに未投函のもの(通常はがきや古い年賀状でもOK。但し書き込み、汚れのあるものは不可)がありましたら、**大阪事務所までお送りください。**切手に交換してハンガーゼロの活動に使わせていただきます。

ナイト de ライトと行くウガンダスタディツアー

ハンガーゼロ親善大使ロックバンドの「ナイト de ライト」とウガンダへ行くツアーです。明るい子どもたち、奮闘するお父さん、あたたかいお母さん。笑顔あふれるアフリカへ「あなたの宝探し」に出かけませんか!



期間:2019年2月12日(火)~22日(金)

費用:39万5千円(早期申込割引あり)

内容:子どもたちとの交流、家庭訪問、「ナイト de ライト」ミニライブなど。現地の人々と間近で接し、コミュニティにおける開発とは何かについて知るチャンスです。

応募と問合わせ先:ハンガーゼロ東京事務所

TEL:03-3518-0781 Email:jifhtokyo@gmail.com

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

フリガナ 氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年 月 日 NL 341号
<input checked="" type="checkbox"/>	下記から希望されるものをお申し込みください
<input type="checkbox"/>	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月()円 □(1000円) ②一時募金として 円協力します。
<input type="checkbox"/>	継続募金(JIFH サポーター)として協力します。 毎月()円 □(500円)
<input type="checkbox"/>	チャイルドサポーター(子ども1人毎月4,000円)の説明書(申込書)を送ってください。
<input type="checkbox"/>	郵便自動引落とし申込書を送って下さい。
<input type="checkbox"/>	その他の銀行自動引落とし申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。お電話やウェブサイトでも申し込みできます。

Hunger Zero サポーター 現在...45330

■発行者 清家弘久

■発行所 一般財団法人 日本国際飢餓対策機構

ハンガーゼロで検索!

Webサイトアドレス <http://www.hungerzero.jp>
eメールアドレス general@jifh.org
フェイスブック facebook でハンガーゼロで検索

■募金方法 ※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウェブサイト
①郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ



大阪 〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL(072)920-2225 FAX(072)920-2155
東京(広島) 〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL(03)3518-0781 FAX(03)3518-0782
東京(東北) 〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
TEL(052)265-7101 FAX(052)265-7132
愛知 〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メソソク米202号
TEL(098)943-9215 FAX(098)943-9216
沖縄
USA Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939 FAX(510)293-0940



Hunger Zero



JIFH



チャイルドサポーター